

📣 自分らしい生き方、応援します！

ソーレ・スコープ

S O L E S C O P E

Take
Free

ご自由に
お取りください

103

2023.Jan.

1～2P 誰ひとり取り残されない減災・防災活動

こうち減災女子部 活動のご紹介

3～4P WEBアンケートから見る・考える「こうちの男女共同参画」

第3回 性教育

寄稿 「いま求めたい包括的性教育」

佐藤洋子さん

5～6P 講座・講演会のご案内

ソーレまつり 2023 ほか

7P

ソーレ相談室のご案内

ソーレ図書・情報資料室

ソーレえいど・県民からの企画提案事業の募集

詳しくは 高知 ソーレ 検索
HP <https://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Facebook



Twitter



Instagram



こうち減災女子部 活動のご紹介

誰ひとり取り残されない 減災・防災活動

今回、取材したメンバーの皆さん
後列左から、福富真子さん、曽根美和さん、公文資子さん、谷村景弓さん
前列左から、小原まさ子さん、近藤ひろ美さん



高知県は、将来必ず起こるとされている南海トラフ地震をはじめ、災害が発生しやすい自然条件下にあることから、防災への取り組みは重要な課題です。大規模災害が発生すると、避難生活のさまざまな困難、さらにはDVや性被害・性暴力といった普段からのジェンダーを巡る課題が浮き彫りになります。しかし、防災に関する政策・方針決定過程への女性の関わりは、本県ではまだ十分ではありません。こうしたことから、男女共同参画の視点をもった災害対応が求められ、ソーレでは防災分野における女性リーダーの育成に取り組んできました。6年目となった今、修了生たちの活動が広がっています。

自分たちにできることから

こうち減災女子部は、地域の自主防災活動に女性リーダーを増やすことを目指したソーレの人材育成事業「女性防災プロジェクト」を受講した修了生で構成されたグループです。2017年にプロジェクトコーディネーターの高知県立大学看護学部神原咲子特任教授のもと、ボランティア活動をスタート。2018年9月、2019年6月に西日本豪雨災害で大きな被害を受けた岡山県倉敷市真備町を訪問。そこでの生活が一気に失われた被災地の実態と、自分たちも被災者でありながらボランティアとして活躍されている倉敷市消防団女性部・倉敷なでしこ隊と交流したことで、「自分たちもできることから何か始めたい」という声が上がリ、2019年に『こうち減災女子部』という団体が発足しました。

合い言葉は「ゆるーくつながる」

現在の登録者は30名くらいですが、活動のメインは4名程度。ただイベントなどになると、サポートに集まるメンバーが10名程度です。高知県は共働きも多く、仕事とプライベートで忙しいということもあり、休日・幽霊部員OKの「活動しなくなったら、いつでも活動できる場所」として、ゆるくつながることを大事に、LINEやメールなどで情報交換しています。

活動は、日常生活の中で取り組めることから、防災への関心を高めることが中心になっています。昨年度は、ソーレが実施している「県民からの企画提案事業」に応募し、「わたしからはじまる災害への備え～おいしい・簡単・防災食」を実施。普段の生活の中からスタートできる、ローリングストックやパッククッキングの講座を開催しました。

こうち減災女子部のモットーは、「誰一人取り残されない減災・防災活動」。

あまり防災にかかわる機会がない子育て世代や障がい者の方との交流も行いながら、一人ひとりが普段から地域や周囲の方々とコミュニケーションを行うことで、被災後に誰かに頼れる関係性をつくることの大切さ、自分自身が困りごとの声を発することが他の誰かを助けることにつながることを伝えています。



ーこうち減災女子部ー

主な活動内容

- 地域で活躍する女性防災リーダーの育成
- 女性による社会に向けた防災活動の発信
- 高知県の災害リスクと避難生活の多様性の理解
- 防災への女性参画の必要性の理解
- 防災活動アクションプランを立て、防災活動に取り組む
- 地域防災への取り組みを発信する
- 県内防災活動のネットワーク作り



訪問時の様子



イベントの様子（パッククッキング）



こうち減災女子部の皆さんにお聞きしました……



Q.1

防災に関わる中で、必要だと感じていることは何でしょうか。

A

さまざまな会議などに参加していて感じているのは、女性が加わることへのハードルの高さです。防災以外の場でも女性リーダーが増えることはとても大事です。

災害時は特別じゃなくて、平時からつながっています。多様な人が暮らす社会の中で、立場の弱い人は声を上げづらいし、声を上げても届きづらい。そうした社会的弱者といわれる人の中でも数の多い女性が声をあげていくことが、社会の中で当たり前とされていることに疑問を持つきっかけになるのではないかと。そうすることで、性差の違いだけではなく性的マイノリティや障害者、高齢者、子供たちはどう思っているのかという問いにつながるのではないのでしょうか。ただ、女性と一括りにされるのは、少し抵抗がありますけど。



Q.2

防災、減災を意識して生活する中で日頃気をつけていることは何か、また準備しておくといよい物は？

A

ローリングストックの必要性は常に感じています。更に“薬のローリングストック”ができればいいのと思っています。また水は必ず常備したいです。500mlを24本入りケースで備蓄しておいて毎日1本持参して出かけています。視力が悪い場合はコンタクトしてない時に、昔のメガネをリュックに入れておくことをお勧めします。

一人ひとり必要なものって本当に違うと思うので、何が自分に必要かっていうものを考えて備えておくってことが大事だと思います。



Q.3

災害に備えて、何から始めたらいいかわからない方へ

A

まずは、「どうしたらいいんだろう」と友だちや職場の人と話してみる。それだけでも、何かのきっかけになるんじゃないかなと思います。話すことから、じゃあ何かやらないかな、これやったらできるがやないって盛り上がって、何かの行動や活動につながることもあると思います。



その他、防災に関わることで変わったこと、感じたことをお伺いしました。

- 防災士の資格は取ったけど、何をしたらいいのかわからなかった。女性防災プロジェクトを通して、地域の仲間とつながり香美市防災士連絡会の立ち上げに関わることができました。また他市町村へ出向く防災研修の内容を考えて提案することもできました。
- 当時、中学生だった娘が防災の活動に興味を持つようになり、友達と一緒に高知市の「こどもファンド」で防災の活動に挑戦するなど家族にも影響がありました。
- 自分が地域に帰った時にどういうことができるかという悩みの方が、大きくなったような気がします。状況判断を瞬時にして、人間関係の調整が地域では大事なのかなと考えるようになりました。



女性が力を発揮できるこれからの防災・減災へ

防災・減災の場では、女性はもちろん、一人ひとりが「主体的な担い手」です。

あらゆる立場の人の声を拾い上げるために、まずは女性が防災の意思決定過程や地域防災の現場に参画していくことが必要です。そのことが、避難生活における一人ひとりの安全・安心の確保、性別によって災害から受ける影響の差を少なくしていくことにつながるのではないのでしょうか。

こうち減災女子部ホームページはこちら ▶ <https://gensaijyoshi.jimdofree.com>



WEBアンケートから見る・考える「こうちの男女共同参画」

第3回 性教育

9月15日～
10月15日
実施

皆様のホンネを
お聞きしました

今回のWEBアンケートは、高知大学地域協働学部ソーレ実習班の学生さんのご協力により、学生たちが関心を持っている「包括的性教育」を考えるため、「性教育」をテーマに実施しました。その結果を学生さんたちのコメントと併せてご紹介します。

※アンケートの設問は、プラン・ユースグループ実施の「ユースから見た日本の性教育の実態調査報告書－包括的性教育を目指して」の内容を参考に作成しています。

https://www.plan-international.jp/youth/pdf/0630_Youth_Report_01.pdf

アンケート結果詳細は、ソーレHPの「調査・研究」内『【ソーレWEBアンケート】第3回「性教育」』に掲載。いただいたご意見も紹介していますので是非ご覧ください。

〈アンケート実施期間と方法〉

令和4年9月15日～10月15日(Googleフォームを使用)

〈回答者総数〉233名(県内210名、県外23名)

【性別毎の割合】

女性149名(63.9%) 男性77名(33.0%)

その他2名(0.9%) 回答しない5名(2.1%)

【年代毎の割合】

内訳:19歳以下21名(9.0%) 20歳代95名(40.8%)

30歳代33名(14.2%) 40歳代35名(15.0%)

50歳代28名(12.0%) 60歳代19名(8.2%)

70歳代1名(0.4%) 80歳以上1名(0.4%)

Point

包括的性教育を…
知っている 12.9%
知らない 65.2%

「包括的性教育」とは

性に関することを、いわゆるセックス(性行為)のことだけではなく、人間関係など幅広い内容について学ぶ教育です。

問1 「性教育」と聞いて浮かぶイメージ(選択式・複数回答)

1位 重要である	92.3%	女性からの自由意見には、恥ずかしいとの意見が多く「正しい知識を恥ずかしいと身構えずに得られるようになればいい」、「性教育が恥ずかしくない話題となる未来を望む」(ともに20歳代)という声がありました。
2位 役に立つ	51.5%	
3位 内容が不十分である	33.0%	
4位 身近である	29.2%	
5位 恥ずかしい	28.8%	

問2 学校で受けたことのある性教育の内容(選択式・複数回答)

妊娠について(例:妊娠後の体の変化)	73.4%
性感染症とその予防について	60.9%
安全な避妊方法について(例:コンドームや緊急避妊薬)	57.1%
自分の体の名称と機能について(性器の詳しい仕組みも含む)	56.2%
性的同意について(性的な行為の前に相手の意思を確認すること)	30%
SNSを含むインターネットの安全な使い方	26.6%
人権について(人間は各々違う価値観を持ち、大切にされるべき)	26.2%
プライベートゾーン(水着で隠す部分)を他人に触れさせないこと	23.2%
ジェンダーの多様性、LGBTIQ+について	23.2%
自分の体のことは自身で決められる権利があること	18.9%
恋人との良い人間関係の築き方	10.3%
性教育を受けていない	9%
覚えていない/答えたくない	6%
その他	3.4%

半数を超える人が受けたことがあるのは、妊娠・性感染症・安全な避妊方法・自分の身体の名称と機能についてでした。

学生コメント

・周りでは避妊方法が分からなくて焦るという声もあるので安全な避妊方法について5割以上が学んでいることに、衝撃を受けた。

・性教育って、性行為とかをイメージするけど、人権としての教育があまりされていないと感じた。

問3 学校で行う性教育で、もっと充実して欲しい内容(選択式・複数回答)

安全な避妊方法について(例:コンドームや緊急避妊薬)	72.5%
性的同意について(性的な行為の前に相手の意思を確認すること)	65.2%
性感染症とその予防について	61.4%
ジェンダーの多様性、LGBTIQ+について	57.1%
自分の体のことは自身で決められる権利があること	52.8%
妊娠について(例:妊娠後の体の変化)	51.9%
人権について(人間は各々違う価値観を持ち、大切にされるべき)	48.9%
SNSを含むインターネットの安全な使い方	47.6%
プライベートゾーン(水着で隠す部分)を他人に触れさせないこと	45.5%
恋人との良い人間関係の築き方	43.3%
自分の体の名称と機能について(性器の詳しい仕組みも含む)	33.5%
特になし/答えたくない	3%
その他	4.3%

「安全な避妊方法について」が、問2で最も多かった「妊娠について」を上回りました。

学生コメント

・アルコールや薬物は、断る権利の理解が進んでいるけど、性的同意も同じようになればいいと思う。

・緊急避妊薬と低容量ピルの違いや、どこで手に入れられるのかを教えてほしい。

WEBアンケート からの自由意見

- プライベートゾーンについての教育は幼稚園・保育園から始めるのが望ましい(20代・女性)
- 生理や性行為について教育を受けた記憶はない。ネット等での偏った情報の取得等、問題がある(20代・男性)
- 性教育は、自分や相手を大切にすると人権教育(50代・女性)

“アンケート調査をととして性教育について感じたことを学生に聞きました。”



性教育といえば性行為のことと捉えられがちだけど、相手も自分のことも守れるような教育だと、人と人が関わりあうときの配慮なども学べます。自分に身近なことだということを包括的性教育をととして理解されたらいいなと思います。

関わりにくいか学びにくいって意識を変えていくのが大事なんじゃないでしょうか。



学生の皆さんからは、他にも予期せぬ妊娠に不安なときなど性のトラブルに対処するために、正しい知識を得られるアクセス情報や相談できる場も欲しい、恥ずかしいと感じないような教育を継続的に学べる場があったらいいという意見がありました。

寄稿

いま求めたい包括的性教育

佐藤 洋子さん(高知大学教員)



(プロフィール) 1981年福島県生まれ。名古屋市立大学男女共同参画推進センター特任助教などを経て、2016年に高知大学に着任。現在は地域協働学部専任講師としてソーレ実習班の学生とともに地域におけるジェンダー平等の実現に取り組む。専門は女性労働研究で、地方における女性の働き方について調査研究を行っている。

今回のWEBアンケートの結果、性器や生殖、性行動といった生物学的な性の側面についてはある程度学校で学ぶものの、性の多様性や一人ひとりが持つ性の権利についてはあまり学校で学んでいないとわかりました。また多くの人が性教育に「重要である」というイメージを持つ一方で、3割弱の人が「恥ずかしい」と考えていることもわかりました。今回の調査は、ソーレを知っている人やジェンダーの問題・性教育に関心のある人が主に回答したと考えられますが、そのように関心のある人でも十分な性教育を学校で受けていないのが現状です。

国際的には、生殖や性行動だけでなく、心理的、社会・文化的な面も含めて性について広く学ぶ「包括的性教育」という考え方があります。包括的性教育の国際的な指針である、ユネスコの『国際セクシュアリティ教育ガイダンス(改訂版)』では、8つのキーコンセプト(①人間関係、②価値観、人権、文化、セクシュアリティ、③ジェンダーの理解、④暴力と

安全確保、⑤健康とウェルビーイングのためのスキル、⑥人間のからだと発達、⑦セクシュアリティと性的行動、⑧性と生殖に関する健康)を年齢発達(5歳から)に合わせたカリキュラムで、学習者自身が中心となって継続的に学ぶことが提唱されています。そこで学習される内容は科学的根拠にもとづくこと、人権として性をとらえることが重要だとされており、最終的には個々人のウェルビーイングの実現がめざされています。

現代の日本では、性＝生殖の問題と考えられ、さらにはそれが少子化や人口減少の問題、すなわち国や地域をどう存続させるかという文脈で語られがちです。しかし性はまず私たち一人ひとりのものです。自分の身体のこととは自分で決める権利があると学ぶことがまず必要でしょう。一方で性に関しては性暴力の問題も深刻です。自分の身体だけでなく相手のことも尊重できる、そうした学びを得られる包括的性教育がいま求められています。

アンケートでは、包括的性教育の開始時期として、望ましいと考える時期についても聞きました。「小学4～6年生から」が35.2%、次に「小学校入学前から」が28.8%と、約3割の人が小学校に上がる前に開始した方がいいと考えていることがわかりました。

小さい頃から身体や心を守る性教育に触れることは、自分と他者を大事にする心を育み、男女共同参画を進めるうえでも大切です。“包括的性教育”について一人一人がその意義を知り、重要性を改めて考えることが必要なのではないのでしょうか。

次回テーマは「防災への女性参画」

1月15日まで
実施中!



ご協力をお願いします。

講座のご案内

●詳しくは、HPをご覧ください。●お申し込み

ソーレまつり2023

オンライン

配信期間: 1月14日(土)~29日(日)
視聴方法: ソーレホームページ内にある
「ソーレまつり特設サイト」にて

会場

開催日程: 1月21日(土)
22日(日)
9:30~16:00

基調講演 オンデマンド配信



時代の先端を 走り抜けた女性アーティストたち —20世紀初頭のロシア・アヴァンギャルド

20世紀初頭、激動のロシアで活躍した
自由で個性あふれる女性アーティストたち。
“ロシア・アヴァンギャルド”と言われる
その活動について、ロシア文学研究者の
沼野恭子さんに、ジェンダーや家族、セク
シュアリティなどの視点を交えながらお話
しいただきます。



講師 沼野恭子(東京外国語大学教授)
配信期間 ソーレまつり配信期間中
申込 不要

LIVE 記念講演会 ライブ配信



こんな世の中に誰がした? 上野千鶴子の怒りの血鉢盛り!

誰もが安心して暮らせる社会を実現する
ため、私たちはどうすればいいのか。フェミ
ニズムに出会って約半世紀、おかしいと思う
ことに真っ向から声を挙げ続けている上野
千鶴子さんの怒りの血鉢盛り! さあどんな
血鉢になるろう? みんなあ、聞いてみようや!



後藤さくら撮影

日時 1月21日(土)13:30~15:30(開場13:00)
講師 上野千鶴子(社会学者/東京大学名誉教授/認定NPO
法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長)
※講師は、オンラインで登壇し、会場内スクリーンでの
視聴となります。

定員 会場80名、オンライン500名(要申込・先着順)
申込 電話またはホームページ申込フォームにて
※オンライン聴講締切は1月19日(木)17時

その他、イベント盛りだくさん!!

1/14(土)
~29(日)

オンライン

動画配信

会場

アトリウム展示

1/21(土)

会場

バザー

1/21(土)
1/22(日)

会場

ステージ発表など
団体企画、展示即売

令和4年度 犯罪被害者支援講演会

子どもを性暴力の被害・加害から守るために ~私たち大人がすべきこと~



「子どもを性暴力から守るために私たちおとなができることはなにか」をテーマに、話題の性教育絵本「おしえて! くもくん」を監修された慶應義塾大学SFC研究所上席所員(現・群馬県警察本部長)の小笠原和美さんに、子ども・女性問題の視点を交えながらお話しいただきます。



出版社: 株式会社 東山書房

日時 2月26日(日)13:30~15:30
会場 高知会館 3階 飛鳥の間(高知市本町5丁目6-42)
講師 小笠原和美(慶應義塾大学SFC研究所上席所員/現・群馬県警察本部長)
※講師は、オンラインで登壇し、会場内スクリーンでの視聴となります。
定員 会場65名、オンライン500名(要申込・先着順)※期間限定オンデマンド配信あり(要申込)
申込 12月24日(土)9:00~ 電話またはHP申込フォームにて
※オンライン聴講締切は2月22日(水)17時、託児の受付締切は2月20日(月)17時
共催 認定NPO法人こうち被害者支援センター **後援** 高知県教育委員会・高知市教育委員会



お問い合わせは、**088-873-9100**まで
(受付時間 9:00~17:00)

無料 受講無料

託児付き(6カ月~
小学3年生まで・予約制)
未就学児童は無料。
小学生は1家族500円。

オンライン
受講可能

オンデマンド
配信あり

女性の居場所づくり事業

ゆるりのしっぽ

無料

コロナ禍で不安や孤独を感じている女性がホッと一息つけるスペースです。こころやカラダをゆるめつつ、自分のペースで自分に必要なチカラをつけていきます。途中のご参加も退室もOKです。

● ゆるりと学ぶ「女性支援新法」

令和4年5月に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立しました。DVや性被害、貧困など様々な困難を抱える女性に関わる法律と言われていますが、私たちにとって何がどう変わるのでしょうか。法律のプロに身近な言葉でゆるりと説明していただきます。

日時 1月16日(月)

講師 中島香織(弁護士/あさひの風法律事務所)

時間 14:00~15:00 会場 ソーレ3F 研修室1・2 対象 女性 申込 不要 託児 受講日4日前までに要予約
コスメバンクプロジェクト様ご提供のコスメキットもご用意しています。(初めて参加の方)

● わたしのココロの声を聴く

誰かとのコミュニケーションでうまく対処できなくて、自分に原因があると感じる時は、ココロが固くなっているかもしれません。そんな自分を慈しみ、ありのままの自分の気持ちをふんわり受けとめるための講座です。

日時 3月13日(月)

講師 竹村朝海(臨床心理士/公認心理師)

怒りとはなんぞや

「イライラ」や「怒り」にさようなら

～怒りと上手に付き合うアンガーマネジメント講座～

怒りは誰にでもあるものですが、怒り方によっては周りの人や自分自身を傷つけることがあります。何に怒りを感じるかは、人それぞれ。自分の怒りのクセに気づき、職場や家庭・地域の人間関係で役立つ、怒りと上手に付き合う「アンガーマネジメント」の基礎を学びましょう。

日時 2月4日(土)13:30~15:30

講師 石井真奈(「まなのき」代表/アンガーマネジメント
コンサルタント/産業カウンセラー)

対象 どなたでも(高知県内在住者限定)

定員 会場20名、オンライン20名(ともに先着順) 受講料 500円

申込 電話またはHP申込フォームにて受付中

※オンライン受講について:Zoomミーティングを使用し、顔出しでの参加となります。

ジェンダーカフェ 誰もが働きやすい社会とは —「仕事×ジェンダー」の視点から考える—

参加者同士が気軽な雰囲気です話し合うカフェ形式の講座です。安藤真由美さんを講師に迎え、私たちのジェンダーに関する無意識の思い込みが働き方に及ぼす影響を確認し、誰もが心地よく働ける社会について一緒に考えます。

日時 2月12日(日)13:00~16:00

講師 安藤真由美(一般社団法人ジェンダー総合研究所共同代表)

対象 テーマに関心のある方

定員 20名(先着順)

申込 1月4日(水)9:00~ 電話またはHP申込フォームにて

女性の健康講座

「正しく知れば大丈夫」

不安から身体や心を守りたい

思春期から性成熟期・更年期を経て老年期までそれぞれの年代に大きく影響し健康に深く関わる女性ホルモン。そのホルモンの乱れによる不調や月経困難・妊娠・出産などのデリケートな性の心配事について分かりやすく話していただきます。女性が自身の身体や心の状態を安全に保ち自分で選択して健康に生きることを考える講座です。

日時 3月12日(日)14:00~16:00

講師 毛山薫(医療法人薫風会 毛山病院 産婦人科医)

対象 女性 定員 20名

申込 2月6日(月)9:00~

電話またはHP申込フォームにて

エンパワメント講座(オンデマンド配信)

ジェンダーギャップの現在地と、 歩んでいくべき未来

様々な課題を抱えている日本のジェンダーギャップ。データやキーワードからそれらを紐解き理解を深めると共に、私たちが向き合うべき課題の本質をみなさんと考え、ジェンダーギャップの是正に繋がるヒントを探ります。

配信期間 3月14日(火)9時~3月27日(月)17時

講師 辻愛沙子(株式会社arca代表取締役/クリエイティブディレクター)

対象 女性

申込 1月14日(土)9:00~3月12日(日)17時迄

HP申込フォームにて

【新型コロナウイルス感染症拡大防止について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、室内の定期的な換気等の対策を行っております。皆様におかれましてもマスク着用及び、入館時の手指消毒等へのご協力をお願いいたします。健康上の理由などによりマスクが着けられない方へのご理解をお願いします。

・講座及び講演会等は、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止またはオンライン開催のみとなる場合があります。

・会場参加は、高知県在住の方に限ります。

【オンライン(Zoom)による講座について】

オンライン受講のお申込み受付は、HPのみで行います。受講に関する注意事項等につきましてはHPをご確認ください。

ソーレ相談室のご案内

ソーレには“こころ”をひらく場所があります。ひとりで悩まないで、まずはお電話ください(相談無料・秘密厳守)。

女性のための相談

一般相談 専用電話:088-873-9555

相談時間 休館日を除いた9:00~12:00、13:00~17:00
(受付は16:00まで)

法律相談(1人30分・予約制)

日 時 毎月第2・4木曜日 14:00~16:00

こころの相談(1人50分・予約制) ※託児あり(要予約)

日 時 毎月第1・3木曜日 14:00~16:00

男性のための悩み相談(1人50分・予約制)

日 時 毎月第1火曜日、第3・4水曜日 18:00~20:00

にじいろコール~LGBTsに関する相談~

専用電話:088-854-8542

専門の相談員が、LGBTsなどの相談(性自認及び性的指向に関する様々な悩みや相談)をお受けしています。ご本人だけでなく、家族・友人・先生などもご利用になれます。発信者の電話番号は表示されません。安心してご相談ください。

日 時 毎月第4土曜日 13:30~16:30

法律相談、こころの相談、男性のための悩み相談の
予約電話番号は **088-873-9100** です。

- ・当月1日より翌月分を受付します。
- ・相談日は変更になる場合があります。あらかじめ、お電話またはソーレHPの相談カレンダーにてご確認ください。



ソーレ図書・
情報資料室から

図書約10,000冊以上、DVD約1,000本を
置いています。
是非ご利用ください。(DVDは資料室でも
ご覧いただけます)

貸出期間

図書 5冊まで2週間

DVD 2本まで1週間
※高知市外在住の方は2週間

募集

令和5年度 ソーレえいど事業

県内の非営利団体・グループが男女共同参画推進のために実施する講座や講演会、調査研究等の費用を助金のうけあてとする。(オンラインによる実施も対象)

<対象団体と助成額>

- 対象は県内を拠点として活動している非営利団体で政治、宗教を主たる目的としない団体
- 1団体20万円を上限に対象経費の8割以内を助成

令和5年度 県民からの企画提案事業

男女共同参画推進のための講演会や講座等の事業を企画・実施する県内の団体や個人を募集します。(オンラインによる実施も対象)選考のうえ決定します。

<募集内容と委託料>

- 男女共同参画の実現に向けた取り組みや、女性問題の解決を主たる目的とすることをテーマとした内容
- 委託料 高知市内で実施するもの 10万円以内
高知市以外で実施するもの 15万円以内

募集〆切 2月26日(日)17:00必着

選考日 3月11日(土)予定

事業実施期間 4月1日(土)~令和6年2月29日(木)

応募方法 募集要項は、ソーレ1階受付にて配布。ホームページからもダウンロード可。ソーレ受付へ持参、または郵送、電子メールにて必要書類を提出。

施設利用のご案内



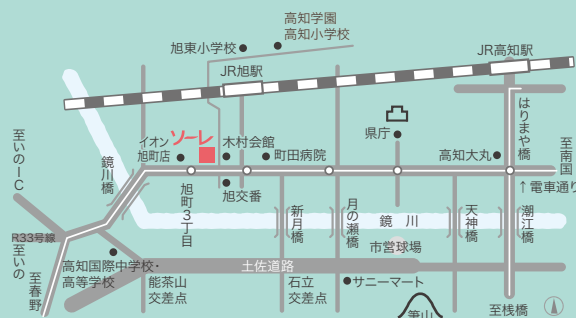
- 貸室利用時間 9:00~21:00(土・日・月曜日9:00~17:00)
- 休館日 第2水曜日・祝日・12月29日~1月3日
- 図書・情報資料室 9:00~20:00(土・日・月曜日9:00~17:00)
※ただし図書利用カードの発行、及び再発行の受付は17:00まで
- 相談室 9:00~12:00、13:00~17:00(受付は16:00まで)
(専用電話/088-873-9555)
※第2水曜日・祝日・12月29日~1月3日は休室です

あなたの声をお聞かせください

当紙面への感想や、主催事業及び施設利用等に対するご意見などを是非お寄せください。

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP <https://www.sole-kochi.or.jp>

SOLE SCOPE(ソーレ・スコープ)のSCOPEは、広さ・広がりという意味。ソーレ(イタリア語で「太陽」)を拠点として、情報が広がることを意味します。



- 所在地 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス
電車…「旭町3丁目」徒歩約1分
バス…「旭町3丁目」徒歩約1~3分
JR…「旭駅」徒歩約5分

駐車場の台数が非常に少ないため、お越しの際には公共交通機関のご利用をお願いします。